

感染症発生状況

令和元年9月4日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年8月26日（火）～8月30日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】266名 【職員】6名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】53名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数34名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（155名）、下痢・腹痛（42名）、咳・鼻水（38名）、嘔気・嘔吐（11名）

疾病別：手足口病（51名）、胃腸炎（15名）、溶連菌感染症（18名）、ヘルパンギーナ（8名）

【職員】症状：熱（1名）、発疹（1名）

疾病別：手足口病（2名）、ヘルパンギーナ（1名）

冬と夏の感染症が入り混じっています。

冬型：インフルエンザ、連菌感染症 夏型：ヘルパンギーナ、手足口病

【症状別の発生状況】

手足口病 厨川地域で減少。玉山、河北、盛南、都南地域で増加しました。

溶連菌感染症 河南地域で減少。厨川、盛南、都南地域で増加しました。

胃腸炎 厨川、河北、都南地域で増加しました。

ヘルパンギーナ 玉山、河北地域で増加しました。

【県の状況（8/19～8/25）】

手足口病は、盛岡市、一関、久慈、二戸地区以外の6地区で警報値（定点当たり患者数5人）を超えました。乳幼児は口内の発疹により、水分を摂取しにくくなるので、脱水に注意が必要です。また、まれに髄膜炎等を併発する場合がありますので、高熱や嘔吐等がある場合は速やかに受診を。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いを励行することが重要です。

ヘルパンギーナは、県央、中部、大船渡、久慈地区で多くなっています。本県では、例年9月上旬まで報告数が多い状況が続くので、注意が必要です。予防には、手足口病と同様の対策が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】